

施工仕様書 「セラキャストF(EGF)」

用途 住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、
プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。
施工不可部位 天端(笠木・手すり・セットバック等)や幅木、パラペットの施工は避けてください。

- ※ 本施工の前に必ず試験塗装を行い、希釈量(粘度)・塗付量(厚み)・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整				
	・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など)				
2	主材塗り (下塗り)	セラキャストF(EGF) 20kg 清水 0.4~1.2kg	2.5~3.0 ・万能ガン 口径:5~6mm 圧力:390~490KPa	1	3時間以上
3	主材塗り (上塗り)	セラキャストF(EGF) 20kg 清水 0~0.4kg	1.0~1.5 ・万能ガン 口径:6~8mm 圧力:290~390KPa	1	0~10分
4	押え	ステンレス製コテ・塩ビ又はポリローラーに清水を使用して押さえてください。 (凸部を押えない場合(凹凸模様押えなし)は省略。)		1	24時間以上 (最終養生)

※ 注意事項

器具 施工器具は万能ガンを使用してください。(推薦器具:明治機械製作所「多用ガンSGS-2」)

攪拌 材料は気温や色の変化によって粘度が変わります。希釈の際は粘度を確認しながら希釈してください。

- ・主材塗り(下塗り)は、下地が均一に隠れるように吹付ます。この際、材料を吹き過ぎて流れないようにしてください。
- ・薄め過ぎ、圧力の上げ過ぎ等は粗目の骨材がのらない原因となります。
- ・主材塗りは、万能ガンを使用してください。
- ・主材塗り(上塗り)は本施工に入る前に必ず試験吹きを行い、パターンの確認及びコテ押えのタイミングを計ってください。
- ・コテ押えの際のコテ移動は、縦、横方向に十字に行ってください。
- ・コテ(ローラー)押えの場合、必ず清水を用いてください。
(灯油、軽油、シンナー等の使用は黄変の原因となりますので使用しないでください。)
- ・吹放しの場合は、工程4を除きます。

施工仕様書 「セラキャストF(XGF)」

用途 住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、
プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。
施工不可部位 天端(笠木・手すり・セットバック等)や幅木、パラペットの施工は避けてください。

- ※ 本施工の前に必ず試験塗装を行い、希釈量(粘度)・塗付量(厚み)・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など)				
2 主材塗り (下塗り)	セラキャストF(XGF) 20kg 清水 0.3~0.8kg	3.0~3.5	・万能ガン 口径:6~8mm 圧力:390~490KPa	1	3時間以上
3 主材塗り (上塗り)	セラキャストF(XGF) 20kg 清水 0~0.3kg	2.0~3.0	・万能ガン 口径:8~10mm 圧力:290~390KPa	1	0~10分
4 押え	ステンレス製コテ・塩ビ又はポリローラーに清水を使用して押さえてください。 (凸部を押えない場合(凹凸模様押えなし)は省略。)			1	24時間以上 (最終養生)

※ 注意事項

器具 施工器具は万能ガンを使用してください。(推薦器具:明治機械製作所「多用ガンSGS-2」)

攪拌 材料は気温や色の変化によって粘度が変わります。希釈の際は粘度を確認しながら希釈してください。

- ・主材塗り(下塗り)は、下地が均一に隠れるように吹付ます。この際、材料を吹き過ぎて流れないようにしてください。
- ・薄め過ぎ、圧力の上げ過ぎ等は粗目の骨材がのらない原因となります。
- ・主材塗りは、万能ガンを使用してください。
- ・主材塗り(上塗り)は本施工に入る前に必ず試験吹きを行い、パターンの確認及びコテ押えのタイミングを計ってください。
- ・コテ押えの際のコテ移動は、縦、横方向に十字に行ってください。
- ・コテ(ローラー)押えの場合、必ず清水を用いてください。
(灯油、軽油、シンナー等の使用は黄変の原因となりますので使用しないでください。)
- ・吹放しの場合は、工程4を除きます。